



まなび舎



安全で安心な学校であるために

9月1日は「防災の日」と定められています。1960年(昭和35年)に国民に対して災害に対する意識を高めるために制定されました。なぜ、防災の日が1960年に決定されたか。それ、制定前年の「伊勢湾台風」が深く関係しています。「伊勢湾台風」は1959年9月26日に発生して、全国で大きな被害、なかでも愛知県・三重県にとっても大きな被害をもたらした台風でした。

もう一つのきっかけは1923年(大正12年)9月1日に発生しました、「関東大震災」です。関東大震災は、神奈川県・東京都を中心に、千葉県、茨城県、静岡県の広範囲でとても大きな被害をもたらしました。これらの災害をきっかけとして、防災の日を定め、国民全体で防災意識を高めて一人でも多くの生命と財産を守ることを目指しています。

先月のお盆の時期に台風が日本列島を横断し、関西地方に被害をもたらしたことは皆さんの記憶にも新しいことと思います。交通機関が運休し、新幹線の運休により多くの人にとって移動に支障が出ていました。

年度の初めに、私から今年度の学校経営について全校保護者会にてお話させていただきました「安心で安全な学校」であるために、港特別支援学校は数々の備えを行っています。

「防災の日」を迎えるにあたり、全校教職員を対象として防災に関する研修会を実施して、災害への備えを今一度全教職員にて確認を行い、その日のために準備しています。

避難場所についても、発生した災害によって最も安全な場所を選んで、避難行動をとります。火災であれば、発火場所から最も離れた場所へ避難します。地震が発生し、津波の発生しそうな場合には、隣にある東京港建設事務所7階へ避難します。災害の想定も「火災・地震・津波・台風による風水害・Jアラート」などを想定した避難行動を計画しています。万が一災害が発生した場合には、災害の種類や規模、避難予定場所の状況などを確認して、教職員一人一人が生徒の安全を確保するための行動に取り組みます。

防災の日は、暦の上で台風が発生するとされる「二百十日(にひゃくとおか)=立春から210日」にあたり、ちょうど9月1日頃と一致します。とはいえ、9月1日に台風が多いということはなく、台風に備える「警戒期」と考えられています。実際に、7月～10月の期間(もっとも数が多いのは9月)で多く発生しています。

国土交通省や各区で、防災マップやハザードマップなどが作られています。それらで、自分が住んでいる地域でどんな災害が予測されるかを把握し、自宅から近い避難場所がどこにあるのかを確認しておくことで安心です。また、自宅からその避難場所まで実際にお子様と歩いてみて、どんな経路で行くことができるかを確認しておくことでさらに安心です。

【参考】港区の防災マップが掲載されているHPのアドレスです。ほかの区でも「〇〇区 ハザードマップ」で検索することで確認できます。

<https://www.city.minato.tokyo.jp/bousai/bosai-anzen/bosai/daishinsai/b-map/index.html>



学校からのお知らせ

令和5年度学校評価アンケートについて

今年度の学校運営及び教育活動において、第三者の目から成果と課題を示してもらうために、「学校評価アンケート」をお願いしています。アンケートの配布及び御提出期間は以下のとおりです。御協力よろしく申し上げます。

アンケートの配布日 : 令和5年 9月25日(月)

アンケートの提出締切日 : 令和5年10月 6日(金)まで

学校からのお知らせ

学校ホームページの URL 変更のお知らせ

学校ホームページの URL が変わりました。従来の URL でアクセスすると、ホームページが移動した旨の案内が掲載されています。新しい URL は以下のとおりです。再度、御登録をお願いします。

(旧) <http://www.minato-sh.metro.tokyo.jp/>

(新) <https://minato-sh.metro.ed.jp/>